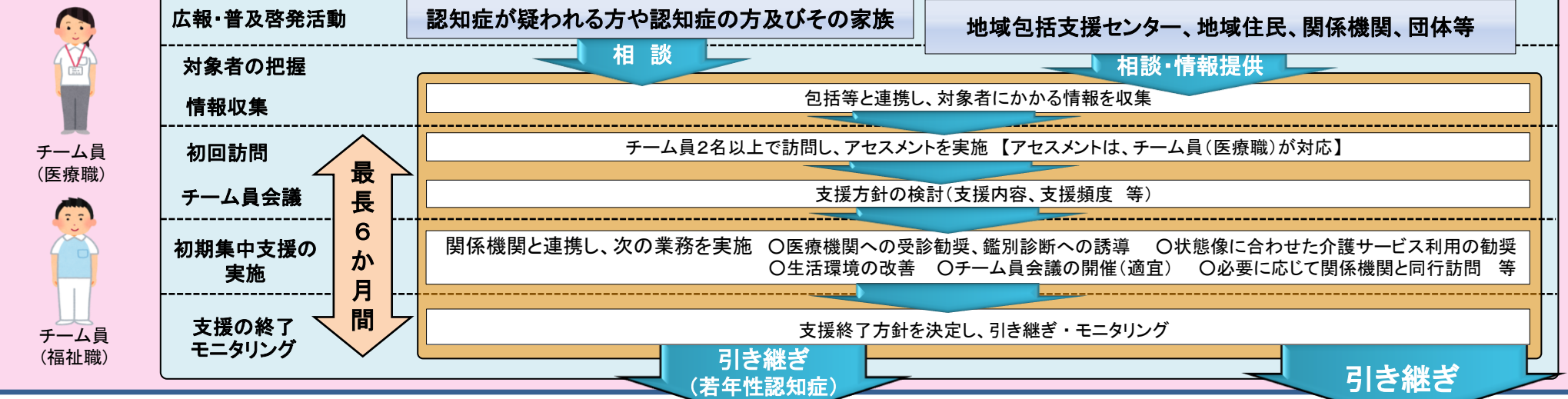


初期集中支援(6ヶ月間)に取り組むチーム員(医療職・福祉職)と、若年性認知症や支援困難症例への対応をはじめとした認知症地域支援推進員の役割

初期集中支援業務の実施



地域の認知症対応力向上

認知症の状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、関係機関の連携体制の強化や地域資源構築の企画調整を行う

地域支援推進員 (医療・福祉の専門職)

- 認知症の方を支援するネットワーク構築・推進
- 認知症疾患医療センターとの連携
- 認知症ケアパスの普及促進
- 認知症の方と家族への相談支援体制構築
- 区内の地域包括支援センターをはじめとした支援機関に対し、認知症への対応力向上のための研修や支援を行う
- 他の包括からの認知症にかかる相談への対応
- 事業所・施設等への認知症対応力向上のための支援
- 認知症ケアに携わる多職種協働のための研修企画調整

若年性認知症や支援困難症例への対応

初期集中支援終了後も、関係機関と連携して継続した支援を行う

	特徴的な課題	継続的支援の内容	
若年性認知症	仕事	働き盛りで家庭を支えている中、本人も症状の進行に対応できず、退職を余儀なくされ、経済的に困窮する	認知症疾患医療センター等と連携の下、職場や産業医と協議する等、就労継続及び退職後の支援に取り組む
	家庭	症状の進行が速く様々な問題が一挙に押し寄せ、配偶者に介護負担が集中することや親世代の介護と重なる等家族に大きな負担となる	本人の症状や状態に応じたきめ細かい支援の調整と同時に、生活が一変することに対する家族へのサポートを行う
	支援の隙間	対応できる社会資源が少なく、必要な支援につなげることが困難	介護保険のみならず本人に適した支援につなげるよう様々な制度や資源を複合的に組み合わせて活用する

他の包括や事業所・施設等からの認知症にかかる相談への対応

支援困難	孤立独居	地域で孤立した状態にあり、また独居等で身近にキーパーソンがいない	包括をはじめ民生委員等、様々な資源を活用し、在宅生活を維持できる支援体制を構築する
	支援拒否	認知症の症状も要因し、支援介入を拒否される	関係づくりのため訪問等を継続し、適切な支援に結び付けるよう働きかけを行う

